

調査書記入上の注意

項 目	基 本 事 項	留 意 事 項
<p>【一般的事項】</p>	<p>調査書の記入は、中学校生徒指導要録（以下「生徒指導要録」という。）に基づいて記入するものであるが、次の点に留意して記入すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書の作成に当たっては、様式第13号を用いること。 2 鮮明に記入すること。記入する数字は、すべて算用数字を用いる。ただし、現住所欄等表記上算用数字を用いるのが不適当な場合については、漢数字を用いてもよい。 3 記入事項がない場合又は記入できない場合は、斜線（/）を引くこと。ただし、選択教科の学習の記録、特別活動の記録の活動状況及び行動の記録の欄についてはこの限りでない。 4 誤記を訂正する場合は、二本の線（＝）を引いて訂正し、欄外に「字訂正」と記して、そこに校長印を押すこと。 5 提出する調査書は、原本を複写したものに、校長印及び記載責任者の印を押して提出してもよい。 6 「志願先高等学校名」及び「受験番号」は、中学校において記入すること。 7 「生徒氏名」は、入学願書と同一に記入すること。 8 「現住所」は、県内居住者は郡・市名から記入し、県外居住者は、県名から記入すること。 9 「志望」は、「全日制」、 「定時制」、 「通信制」のいずれかを で囲むこと。第2志望の欄については、第2志望を認めている高等学校を希望する場合で、第2志望があるときは記入し、なければ斜線（/）を引くこと。また、第2志望を認めていない高等学校の場合も斜線（/）を引くこと。 10 平成13年3月から平成14年3月までに中学校を卒業した者の調査書については、「観点別学習状況」、「行動の記録」及び「総合的な学習の時間の記録」を除いて記入する。 	<p>教育委員会で配布した用紙を複写して用いてもよい。また、様式を踏まえれば、ワードプロセッサ等により用紙を作成してもよい。</p> <p>記入できない項目がある場合には、「その他の事項」の欄にその理由を記入する。</p> <p>ただし、「受験番号」については、推薦入学、連携型入学者選抜及び第2次募集の際は、高等学校で記入する。</p> <p>転居予定者は、転居予定先の住所を記入する。</p> <p>記載に当たっては、「観点別学習状況」、「行動の記録」及び「総合的な学習の時間の記録」の欄には斜線（/）を引くこと。 「その他の事項」の欄には、中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。</p>

項 目	基 本 事 項	留 意 事 項
<p>1 各教科の学習の記録</p>	<p>1 1 平成12年3月以前の卒業者（中学校卒業後5年を経過した者）の調査書については、生徒指導要録の「学籍に関する記録」その他必要事項を記入する。</p> <p>1 観点別学習状況 生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。</p> <p>2 評定 ア 第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録の評定を転記する。 イ 第3学年の欄は、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。</p>	<p>記載に当たっては、「各教科の学習の記録」から「体力テスト」まで欄に斜線（/）を引く。「その他の事項」の欄には、中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。</p> <p>学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現の状況を観点ごとに評価する。</p>
<p>2 選択教科の学習の記録</p>	<p>1 各学年において選択履修した全教科について記入する。</p> <p>2 評定 ア 第1学年及び第2学年については、生徒指導要録の評定を転記する。 イ 第3学年については、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。</p>	<p>選択教科の評定は、生徒指導要録では、A、B、Cの3段階で表記されるが、調査書においてはA 3、B 2、C 1に置き換えるものとする。</p> <p>記入欄が不足した場合は、「その他の事項」の欄に記入する。</p>
<p>3 総合的な学習の時間の記録</p>	<p>3年間の記録（第1学年及び第2学年は生徒指導要録の記録、第3学年は生徒指導要録に記入すべき記録）の中から、生徒の学習状況や成果等の評価を文章で記入する。</p>	<p>記入内容は、生徒の学習状況の顕著な事項やどのような力が身に付いたかなどとする。</p>
<p>4 特別活動の記録</p>	<p>1 活動の状況 ア 第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録から転記する。 イ 第3学年の欄は、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。</p> <p>2 事実及び所見 3年間の記録（ただし、第3学年は生徒指導要録に記入すべき記録）から記入する。</p>	<p>「特別活動」における活動の状況について、主な事実及び総合的に見た場合の所見を記入すること。 箇条書きでもよい。</p>
<p>5 行動の記録</p>	<p>生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。</p>	
<p>6 部活動・特技等の記録</p>	<p>1 部活動の参加及び活動状況について具体的に記入する。 2 公的機関による資格認定、特筆すべき記録等があれば具体的に記入する。</p>	<p>箇条書きでもよい。</p> <p>特筆すべき記録等は、学校内外におけるスポーツ活動や文化活動、ボランティア活動等について記入する。ただし、「特別活動の記録」の欄に記載すべきことは除く。</p>

項 目	基 本 事 項	留 意 事 項
7 欠席日数	<p>1 第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録から転記する。</p> <p>2 第3学年の欄は、平成18年1月13日（金）現在で記入する。</p>	<p>該当する日数がない場合には、空白とせずに0と記入する。</p> <p>不登校生徒については、次の3要件を満たし、学校への復帰を前提に本人の自立を助けるうえで有効・適切な相談・指導を公的機関等で受けた場合は、その日数を生徒指導要録上、出席扱いができる。</p> <p>保護者と学校の間には十分連携・協力がある。</p> <p>相談・指導を受ける場合は原則として公的機関であること。</p> <p>民間機関の場合は、校長が教育委員会と連絡をとり判断する。</p> <p>通所・入所し、相談・指導を受けることを前提とすること。</p> <p>（平成4年9月24日 文部省通知）</p>
8 体力テスト	<p>第3学年の総合判定をA、B、C、D、Eで記載する。</p>	<p>体力テストの欄に記入ができない場合は、斜線（/）を引き、「その他の事項」の欄にその理由を記入する。</p>
9 その他の事項	<p>1 欠席日数が各学年ごとに10日以上ある時には、主な理由を記入する。</p> <p>2 中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。</p>	